

公益財団法人 セコム科学技術振興財団
令和 2 年度 挑戦的研究助成「セコムチャレンジ 2020」
募集要領

1. 研究助成の趣旨

わが国は世界有数の豊かで安心な先進国として、世界各国から高く評価される存在となりました。これは、官民あげてのこれまでの努力の賜物であり、またわが国の科学技術振興の大きな成果です。一方、これからの社会を見つめたときに、直面する高齢社会、エネルギー不安、環境問題、また頻発する大規模災害やテロ等の大きな不安要素を解決しうる社会革新が強く求められています。世界は大きく変貌し国際競争は益々熾烈を極めております。その中でもわが国が常に優位な立場を維持し豊かで明るい国であり続けるためには、これまでの延長線上に無い革新的な科学技術振興が欠かせません。未知への挑戦、この研究の本質を見据えた革新的な科学技術振興が今強く求められています。

当財団では、未来を見据えた技術革新を強力に推進するエネルギーに満ちた若い研究者の挑戦的な研究を、公募により助成いたします。

令和 2 年度は以下のテーマについて募集します。

- 情報技術と社会（サイバーフィジカルシステム、セキュリティ、人工知能）
- 階層性を超えた生命基本原理：統合的アプローチ
- 最先端科学の ELSI（社会・倫理・法的側面）

本研究助成では、新しい研究領域を開拓するような基礎研究を対象としますが、安全安心な社会の実現に貢献する可能性のある研究課題を募集します。

2. 助成の対象

現に活発な研究活動を行っており、助成期間中継続的に研究を実施することができる国内の大学・大学共同利用機関法人・国立研究開発法人（以下、大学と略す）に所属する 39 歳以下（令和 3 年 4 月 1 日時点）の研究者を対象とします。申請者が必要とする場合、共同研究者（令和 3 年 4 月 1 日時点で 39 歳以下）が参画することも可能です。

民間企業等に所属する研究者は申請者になることはご遠慮下さい。ただし、共同研究者として参加することは可能です。

なお、当財団役員、評議員及び当財団の全ての選考に関わる委員は、申請者及び共同研究者になることができません。

3. 助成金額及び採択予定件数

助成金額は 1 件につき 1 年あたり最大 300 万円、最大 3 年間で総額 900 万円以内です。助成金額は、毎年提出する研究助成申請書に基づき審査により決定し、1 年ごとに交付します。研究助成申請書に記入された助成金希望額とならないこともありますので、あらかじめご了承ください。

令和 2 年度は、1 テーマあたり数件程度の採択を予定しています。

4. 研究期間

研究期間は2年間または3年間です。ただし、進捗次第では次年度への研究継続が認められない場合があります。1年目の研究期間は、令和3年4月1日～令和4年3月31日です。以降は、各年4月1日～翌年3月31日となります。

5. 助成金の使途

助成金は、公益財団法人の公益目的事業として大学に交付（寄付）させて頂くものです。助成金の使途については、当財団として特に使用項目の制約はありませんが、各大学の規則等に従って適切に処理・管理していただきます。

また、助成金は、申請者が研究助成申請書に記載した使用計画に沿って使用して下さい。申請者が研究目的達成のために必要と判断する経費を使用計画に記載して下さい。研究開始後に使用計画を大きく変更する場合は、事前に当財団へご相談下さい。

なお、当財団からの助成金（寄付金）は、その全額を研究費に当てていただく方針のため、所属機関内での間接的な経費についての免除手続きをお願い致します。あらかじめご了承下さい。

6. 応募方法

6. 1 応募手順

本研究助成への応募手順は次の通りです。

- ① アップロード用アカウントの発行
- ② 研究助成申請書類（原本）の郵送による提出
- ③ 研究助成申請書類（電子データ）のアップロード提出（①で発行したアカウントを使用）

【注意点】

※①～③の全ての手順が必要です。②のみ、または①と③の手順だけでは、応募を完了できず受領できませんのでご注意ください。

※②と③の手順は逆でも構いません。

※従来実施していました DVD-R 媒体での提出は不要となりました。

6. 2 アップロード用アカウントの発行

本研究助成への応募には、研究助成申請書類（電子データ）のアップロードのためのアカウントが必要です。アップロード用アカウントの発行は、次の要領で当財団事務局までメール送信して下さい。

【アップロード用アカウントの発行依頼メールの作成要領】

メールの件名：アップロード用アカウント発行依頼（●●●●）

※●●●●部分には、申請内容に応じてテーマ「情報技術と社会」「階層性を越えた生命基本原理」または「最先端科学の ELSI」のいずれかを記載して下さい。

メールの本文：以下の項目を全て記載して下さい。

応募するテーマ名：（注：「情報技術と社会」「階層性を越えた生命基本原理」または「最先端科学の ELSI」のいずれかを記入して下さい）

申請者（研究代表者）の氏名：

申請者（研究代表者）の所属機関・部署・役職：

連絡先メールアドレス：（注：アップロード用アカウントの送付先となります）

【アップロード用アカウントの発行依頼メールの送付先メールアドレス】

sstfoundation@secom.co.jp（セコム財団・事務局）

【アップロード用アカウントの発行依頼の締切日】

令和2年10月29日（木）

【注意点】

アップロード用アカウントの発行依頼メールを当財団事務局で受領次第、順次アカウント情報を連絡先メールアドレスに送信します。事務局スタッフの作業による送信のため、平日の日中の対応となります。そのため1～2日程度要することがあります。あらかじめご了承ください。

6. 3 研究助成申請書類の提出

研究助成申請書（書式 C-1）の原本1部（両面印刷し、申請者及び推薦者の押印のあるもの）を、以下の送付先へ郵送して下さい。当財団への持ち込みはできません。なお、提出いただいた申請書類は、お返しできません。

【申請書の送付先】

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 1-5-1 公益財団法人 セコム科学技術振興財団

また、アップロード用アカウント情報を用いて、以下の研究助成申請書類の電子データを、インターネットから Web ブラウザを使い、アップロードして提出して下さい。詳しいアップロード方法は、アップロード用アカウント情報の電子メールにてお伝えしますので、そちらを参照して下さい。

【アップロード提出する電子データ】

- ・研究助成申請書（書式 C-1）の Word データ（PDF 不可）※押印なしのデータで結構です。
 - ・研究全体のイメージ図の Microsoft Power Point データ または PDF データ
- ※研究全体のイメージ図については、書式 C-1 における赤字の説明書きを参照下さい。

6. 4 募集期間

令和2年10月12日（月）から令和2年11月6日（金）まで。（必着、期日厳守）

※アップロード用アカウント発行依頼受付は、令和2年10月12日（月）から令和2年10月29日（木）です。

※研究助成申請書類（原本）の提出は、令和2年11月6日（金）まで。（必着、期日厳守）

※研究助成申請書類（電子データ）のアップロード提出は、令和2年11月6日 23:59まで。

6. 5 研究助成申請書（書式 C-1）の記入について

書式 C-1 の朱筆部分の留意点をよく読み、要点を簡潔かつわかりやすく表記するように努めて下さい。書式 C-1 については、最大 10 ページ以内（研究全体のイメージ図を含む）とします。二次審査のため当財団から追加提出を依頼する場合を除き、書式 C-1 以外の補足説明資料等は受付できません。

申請書は、所属機関の上長の推薦を受けて下さい。推薦者の公印が必要となります。上長は、例えば、学長、大学院研究科長、学部長、研究所長など、公印のある方になります。上長の個人印は受付できませんので、ご注意願います。

なお、当財団の理事若しくは評議員は推薦者になることができますが、当財団の全ての選考に関わる委員は推薦者になることができません。

6. 6 応募の制限

国又は他の機関から助成を受けている同一内容の研究課題については応募をご遠慮下さい。

7. 選考の方法、選考結果の通知

当財団の本助成のための選考委員による以下の選考を行います。

一次選考は、研究助成申請書に基づく書類審査です。一次選考の結果は、文書により申請者に通知します。（令和 2 年 12 月中旬ごろを予定しています。）

二次選考では、一次選考を通過した申請者に対して面接を実施いたします。面接では、研究助成申請書に基づき、ご研究の要点を分かり易くご説明頂き、その後質疑応答を実施いたします。

面接実施日は、令和 3 年 1 月中旬～下旬を予定しています。

面接の詳しい実施時刻は、当財団から申請者へ連絡します。申請者が面接に参加できない場合は不採択となりますのでご注意ください。なお、面接の代理出席は一切できませんのであらかじめご了承下さい。

選考結果は、選考委員会における審査、決定、所定の手続きの後、文書により申請者に通知します。通知は、令和 3 年 2 月上旬頃を予定しています。なお、選考の結果決定された助成金額が、研究助成申請書に記載の助成金希望額と異なる場合は、選考結果通知後に再度「助成金の使用計画内訳」をご提出頂きます。

8. 研究助成贈呈式の開催、助成金の交付

研究助成贈呈式を令和 3 年 3 月 12 日（金）午後（概ね 14 時以降）に開催致します。場所は東京都心部を予定しています。採択された方はご参加頂くこととなりますので、あらかじめご了承下さい。但し、新型コロナウイルスの感染状況次第では、オンラインでの開催など、開催方法も含め変更となることが考えられます。贈呈式の詳細は別途ご連絡申し上げます。

採択された研究課題に対する助成金は、申請者に選考結果通知後、大学に対する寄付申込等の手続きを行い、令和 3 年 3 月末までに完了するように、申請者の所属する大学の指定口座に全額を振り込み致します。なお、申請者の個人口座に振り込むことはできません。

9. 助成対象者の報告・提出義務等の注意点

9. 1 研究計画の変更について

助成期間中に申請書に記載された研究計画を変更される場合は、事前に当財団事務局へご連絡下さい。変更の内容次第では、選考委員による審査が必要な場合がございます。

9. 2 翌年度への研究継続に向けて

採択された助成対象者は、翌年度への研究継続の審査のため、1年間の報告書を兼ねた研究助成申請書を毎年提出して頂きます。提出時期などの詳細は事務局より連絡致しますが、毎年12月頃を予定しています。面接の代理出席は一切できませんのでご注意下さい。

9. 3 研究期間終了時（報告書の提出など）

研究終了後3ヶ月以内に研究成果報告書および全研究期間の会計報告書を提出して頂きます。研究成果報告書は原本およびその電子データを提出して頂きます。

研究成果報告書は、別途定める研究成果報告書の作成要領に従い作成して下さい。

なお、研究期間の途中で次年度への継続が認められなかった場合においても、研究助成期間終了時点までの研究成果報告書を提出して頂きます。提出期限は、研究助成期間終了後3ヶ月以内です。

9. 4 会計報告について

毎年度終了後1ヶ月以内（4月末まで）に会計報告書を提出して頂きます。会計報告書は、別途定める様式に従い、助成年度毎に、人件費、機器・ソフトウェア購入費、消耗品費、旅費、材料費、会議費、委託費、印刷・複写費、その他などの用途別に区分し、支出の詳細を記入した費用支出明細を作成して提出して下さい。領収書などの証拠書類を確認させて頂くことがあります。

また、全助成期間終了時に助成金の残額が発生することが見込まれる場合や、やむを得ず助成期間を超えて研究継続する必要がある場合（採択当初の目的を達成する研究に限り、応用・発展的な研究は対象外です）は、助成期間終了までに必ず事務局へ申し出て下さい。当財団選考委員会等にて審査の上、残額を使った研究継続（最大1年間）の可否を判断致します。事前の残額発生のお申し出がなかった場合や選考委員会等で研究継続が認められなかった場合には、残額の返金を求めることがありますので、十分ご注意下さい。

10. 研究成果の扱い

研究成果の学会論文誌等への発表に際しては、当財団から研究助成を受けている、あるいは過去に受けたことを明示して下さい。

提出された研究成果報告書の内容は、当財団ホームページで公表するほか、印刷・製本して関係者、関係機関等に配布させて頂くことがあります。研究成果報告書のうち、広く国民に普及することが適切と当財団が判断した場合は、研究成果報告書をベースに一般向け普及書としてリライト・出版させて頂くことがあります。なお、リライトにあたっては、申請者は当財団に協力するものとさせて頂きます。

1 1. 個人情報の取り扱い

個人情報は、研究助成の選考・審査や申請者への連絡、助成対象者（氏名、所属機関及び所属部署名、職名、研究課題名、助成額及び申請助成額）の発表および当財団からの情報発信に限定して利用いたします。

法令により許される場合を除き、申請者の同意を得ずに上記利用目的の変更を行うことはありません。

1 2. 申請書等書類の送付先

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 1-5-1 セコム(株)本社内
公益財団法人 セコム科学技術振興財団

1 3. お問い合わせ先

公益財団法人 セコム科学技術振興財団

電話：03-5775-8124 FAX：03-5770-0793

E-mail：sstfoundation@secom.co.jp

ホームページ：<https://www.secomzaidan.jp/>

1 4. その他

- 研究助成の採択・継続のための選考以外にも、研究の進捗状況や助成金の使途状況について尋ねることがあります。助成対象者は速やかに対応して頂くものとします。
- 当財団のホームページ等で助成対象者を紹介する記事等を掲載するために、助成対象者および研究実施環境の取材を行うことがあります。その際は、ご協力いただくものとします。
- 当財団の主催する成果報告会やシンポジウムなどの行事への協力を求めることがあります。
- 助成対象者の氏名、所属機関及び所属部署名、職名、研究課題名、助成額及び申請助成額について当財団ホームページ等にて公表させていただきます。
- 当財団からの各種通知は、迅速を期するために、一部電子メールで行います。当財団からの電子メールを受信した際は、事務処理を確実に進めるため、助成対象者におかれては必ず3日以内にメールを受信した旨のご返信をお願い致します。

以上